

湘南工科大学附属高等学校

令和七年度 入学試験問題

国語

マーク上の注意事項

- 1 HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 2 答えを直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 3 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例
	 線
 丸囲み	 小さい
 点	 はみ出し
 うすい	

一 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。（作問の都合上、本文を改めたところがあります。）

『レ・ミゼラブル』^{注1}が描き出すように、ルールを変えるために戦うことは、人々に多大な犠牲を強いることになります。それは、一時的に世の中に大きな混乱を招くことになるからです。それでもルールを変えなければならぬときがあるからこそ、人々は立ち上がるわけです。しかし、それならみんなが一つのルールに適應してしまった方が、いろいろと楽なのではないでしょうか。そうすれば、社会に混乱も起こらないし、戦いが起こることもありません。なぜ、世の中はそうならないのでしょうか。^A
このような考え方に異を唱えた人物がいます。ドイツ出身で、アメリカで活躍した政治思想家である、ハンナ・アーレントです。

もしもすべての人が一つのルールに適應してしまったら、世の中はどのようなのでしょうか。アーレントによれば、そこでは誰もが同じように考え、同じように行動し、同じような生き方をする世界になってしまいます。多様性は失われ、社会は画一的になってしまうのです。彼女はそれを、すべての人々が「一人の人間」^Bになってしまう、という事態として説明しています。しかし、事実として、このような世界は決して成立しません。なぜなら、人間は誰もが異なる存在であり、この世界に一人として同じ人間は存在しないからです。アーレントは、そのようにこの世界に存在する人間が多様であるという性質を、「複数性」と呼んでいます。

人間は、複数性をもつからこそ、かけがえのない存在であり、他者には置き換えることのできない個性を持っています。それは同時に、人間は誰もが前例のない存在であるということ、つまりこの世界に初めて生まれてきた存在である、ということでもあるのです。

ここからアーレントは、人間がこの世界に生まれてくるということを、世界に新しい始まりをもたらす出来事として説明しています。「私」とまったく同じように考え、行動し、生きる人間は、この地球上において、ただ一人として存在しません。

だからこそ、「私」には、これまでの人々が誰も想像しなかったことを、誰も考えもせず、行動することもなかったことを、新しく始めることができるのです。

人間が複数性をもっている、ということは、この世界では誰もが新しく何かを始めることができる、ということです。だからこそ、私たちには社会のルールを変更することができるし、また新しいルールを作り出すこともできます。それが、アーレント^Cの考える人間の条件なのです。

それに対して、ルールの変更を認めず、すべての人々を一つのルールで縛ろうとすることは、こうした人間の複数性の否定に他なりません。そのように画一化された世界で、人間は個性を奪われ、誰とでも交換可能な存在へと貶め^{おとし}られてしまいます。ルールに反逆しようとする人は、その存在を否定されてしまうのです。

アーレントは、このように、一つのルールで人間を支配しようとする社会のあり方を、「全体主義」と呼びます。その事例として彼女によって挙げられるのが、第二次世界大戦中のドイツです。当時のドイツでは、ナチス^{注2}と呼ばれる独裁政権が国を支配しており、国家を批判する人は強制収容所に連れていかれ、虐殺されました。そこでは、国民には国家が正しいと認めるただ一つのルールだけが押し付けられ、人々の複数性、意見の多様性が踏み^Dにじられていたのです。

一つのルールですべての人間を納得させることなんてできない。もしもそれができたら、人間は一つのルールでカバーできってしまうような、単一の存在になってしまう。a、人間には複数性が備わっていて、誰もが他者と異なる存在であり、

今まで考えられなかったような新しいことを始めることができる。私たちには、どんなときでも、既存のルールに異を唱え、それを刷新することができる。だから、人間はルールに反逆する——アーレントはそのように考えました。

b、ルールへの反逆を一人で行うことはできません。^{注3}フランス革命がそうであったように、そのためには多くの人々が力を合わせ、一緒に行動しなければなりません。アーレントは、そうした人間の複数性に基づく行動を「活動」と呼びました。

活動が複数性に根差すからこそ、それは、新しく何かを始めることを意味します。そしてそうした活動に携わっているとき、私たちは、他の誰とも交換不可能な人間として、かけがえのない個人として、自らの姿を現すのです。しかし、そうであるからこそ、活動は常に予測不可能な営みでもあります。

したがって、多くの場合、^E反逆は当初の予想とまったく異なる帰結を迎えることになります。フランス革命が起こる前、革命を計画していた人々は、その最中で残虐な事件の数々が起きるとは、思いもしなかったのではないでしょうか。しかし、一度革命が始まってしまったら、その行く末を意のままに操ることなど、誰にもできません。革命がどんな顛末^{注4}を辿るかを予測できた人など、一人として存在しなかったはずです。

c、活動は常に、「こんなはずではなかった」ということの連続になります。それは失敗に終わるかもしれませんが、そうでなくても、多くの犠牲をもたらすかもしれません。アーレントは、全体主義の脅威に対して、活動の重要性を訴えました。ただし彼女は、ただそれを樂觀視していたわけではありません。活動は、人間の自由を守る最後の砦^{とりで}でありながらも、まさにユーゴーが「悲惨な人々（レ・ミゼラブル）」と呼んだような、不幸に見舞われる人々を作り出してしまいかもしれないのです。

しかし、だからといって、私たちには何もできないわけではありません。アーレントは、活動が予測不可能であるからこそ、特別に重要になる要素があると言います。それは、「約束」です。

約束などというと、何を生ぬるいことを言っているのだ、と思われるかもしれませんが、仲間^Fに約束したことなんかよりも、社会で正義とされるルールの方が、優先順位が高いように思われるかもしれません。

しかし、アーレントはそうは考えません。なぜなら、他者に約束することだけが、人々の活動が新しい出来事を引き起こしていく中で、その予測不可能性を制御する力を持つからです。もちろんその力は万能ではありません。約束したところで、それが破られることもあるでしょう。しかし、約束することなしに、活動を望ましい方向へと導くための、道筋を構想することはできません。だからこそ、約束を交わすこと、そして約束を守することは、特別な重要性をもつのです。

そうであるとしたら、約束を守るとは、社会のなかの正義よりも、ずっと大切だと考えることさえできるかもしれません。なぜなら社会の正義は変わりうるからです。正義が変更され、不安定になるとき、活動が暴走しないために、約束は必要不可欠なのです。あるいはこう言ってもいいかもしれません。約束は、社会の正義を変えることを、既存のルールに反逆することを、望ましい仕方を実現するための、欠かすことのできない条件だと。だから私たちは、他者との約束を特別に尊重しなければならない、と。

話をまとめてみましょう。私たちは、ルールによつて ア を判断していますが、そのルールは常に刷新されうるものです。しかし、ルールを刷新するとき、つまり既存のルールに反逆するとき、私たちはどんなルールによつても正当化されえない、ある種の無秩序な状態に陥ります。それは、一歩間違えれば、恐ろしい暴力を引き起こすことになりかねません。

そうした中で、活動をコントロールする唯一の手段は、他者との約束を交わすことであり、その約束を守り抜くことです。ルールに反逆しているとき、私たちが従うことができるのは、仲間と交わした約束以外に何もありません。

だからこそ、約束を破ることは、許されない行為なのです。それは、単に仲間を欺くことになるからではありません。その活動そのものを無秩序にし、恐ろしい暴力へとエスカレートさせかねないからです。もしかしたらその暴力は、約束を破った自分自身に、跳ね返ってくるかもしれません。

私たちは、どんなことであれ、他者との約束を守るべきです。^H ただしそれは、「約束を守るべきだ」という既存のルールとして理解されるべきではありません。約束を守るとは、そうしたルールの刷新を健全に行うために、「悲惨な人々」が生まれることを避けながら、自分たちが納得できるルールを自分たちで作りに上げていくために、必要となる最低限の条件なのです。

（戸谷洋志『悪いことはなぜ楽しいのか』）

注1 レ・ミゼラブル ……ビクトル・ユーゴーの長編小説。一片のパンを盗み入獄した男の苦難に満ちた生涯を描く。

注2 ナチス ……国家社会主義ドイツ労働者党の通称。ヒトラーを党首として政権を掌握した。

注3 フランス革命 ……一七八九～一七九九年にフランスで起きた市民革命。

注4 顛末 ……物事の初めから終わりまでの事情。事のいきさつ。

問一 傍線部A「このような考え方」とありますが、どのような考え方ですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

1 すべての人々が同じように考え、行動するためには、ルールを明確にする必要がある。

2 ルールを変更することは社会を大きく混乱させるため、人々が一つのルールに適応した方がよいという考え方。

3 この世界で社会のルールを変えるためには、社会に混乱や戦いが起こることは仕方がないという考え方。

4 一つのルールが人々を支配すると、自然とみんなが同じように考え、行動するようになるという考え方。

問二 傍線部B「このような世界」とありますが、どのような世界ですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

1 同じような考えの人が集まり、新しいルールを作り出そうとすることで、すべての人々が「一人の人間」になってしまう世界。

2 すべての人が一つのルールに適応し、社会が画一的になり、すべての人々が「一人の人間」になってしまう世界。

3 人々の考え方の中から代表的なものが選ばれ、多様性が失われていく中で、すべての人々が「一人の人間」になってしまう世界。

4 他の人と同じように行動し、同じような生き方をすることを拒み、すべての人々が「一人の人間」になってしまう世界。

問三 傍線部C「アーレントの考える人間の条件」とありますが、どのようなものですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 戦うことを通じて誰もが多様性をもち、社会のルールを変更することができるというもの。
- 2 複数性を否定することで、誰もが自分の可能性を広げ、新しいルールを作り出せるというもの。
- 3 この世界では、誰もがこれまで想像しなかった新しい始まりをもたらすことができるというもの。
- 4 一つのルールに縛られず、複数の考えを持ちながらも交換可能な存在としてこの世界に生まれてくるというもの。

問四 傍線部D「一つのルールですべての人間を納得させることなんてできない」とありますが、なぜですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 人間は互いに意見を交わすが、全体主義においては最終的に自分の意見を押し通すから。
- 2 人間は未来を予測することはできず、多くのルールを作ることではしか社会をまとめられないから。
- 3 人間は誰もが他者と異なる個性を持ち、まったく同じように考え、行動することはできないから。
- 4 人間は進化を求める生き物であり、批判的な態度で常に新しいものを求めようとするから。

問五 空欄

a

c

 に入れる語として最も適するものをそれぞれ選び、マークしなさい。ただし、同じ語が二カ所に入ることはありません。

- 1 もちろん
- 2 それに対して
- 3 だから

問六 傍線部E「多くの場合、反逆は当初の予想とまったく異なる帰結を迎える」とありますが、なぜですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 反逆を計画することに一生懸命になり、その活動の結果の良し悪しを予想しようとする人はいないから。
- 2 反逆する人々は、それぞれがかげがえのない存在であるという自覚を持ち、勝手な行動をとるようになるから。
- 3 反逆は複数性に根ざした個人が集まって行う活動であるため、その過程での互いの考えや行動が読めないから。
- 4 反逆は、力を合わせることでさえすれば成功すると多くの人に信じられ、誰もそれを疑おうとしないから。

問七 傍線部F「もちろんその力は万能ではありません」とありますが、なぜですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 他者と約束したことよりも社会で正義とされるルールの方が優先順位は高いように考えられるから。
- 2 他者と約束することで、活動の予測不可能を制御できるが、ルールを変えることには役立たないから。
- 3 他者との約束を守ることは重要であるが、仮に約束を守ったとしても犠牲や混乱を避けることはできないから。
- 4 他者と約束することは、人々の活動を暴走しないようにするが、そもそも約束が守られないこともあるから。

問八 空欄アに入れる語として、最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 個性的な正しさ
- 2 多角的な正しさ
- 3 圧倒的な正しさ
- 4 道徳的な正しさ

問九 傍線部G「無秩序な状態」とありますが、どのような状態ですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 今まで通用していたルールが守られなくなり、守るべき新しいルールがまだ作られていない状態。
- 2 約束の上で成り立つはずのルールが守られないことによつて、正義がなくなる状態。
- 3 判断基準であるルールを変えるための活動そのものが正しいかどうか、わからなくなる状態。
- 4 既存のルールに反逆することで、今までとは逆のルールで行動をしなくてはならなくなる状態。

問十 傍線部H「私たちは、どんなことであれ、他者との約束を守るべきです」とありますが、なぜですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 他者との約束を守るとは、暴力から自分たちを守り、安心して日々を暮らすために役立つものだから。
- 2 他者との約束を守るとは、活動をコントロールして、世の中の暴力をなくすために必要だから。
- 3 他者との約束を守るとは、社会を平和に保つための必要最低条件だから。
- 4 他者との約束を守るとは、自分たちが納得できるルールを構築するために欠かせないものだから。

問十一 次の各文のうち、本文の内容に合うものには1を、合わないものには2をそれぞれマークしなさい。

- A 『レ・ミゼラブル』には、不幸に見舞われる人々が描かれている。
- B 人間は誰もが異なる存在であるため、一つのルールに適応しながら生きることができない。
- C 第二次世界大戦中のドイツでは、ナチスが国を支配していた。
- D フランス革命を起こす前、人々は活動の結末を想定していた。
- E 活動は多くの犠牲を生み出すため、そこから新しいルールを作り出すことはできない。

二 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。（作問の都合上、本文を改めたところがあります。）

山城国久世郡に人の娘ありけり。幼くより観音に仕へけり。慈悲深くしてものをあはれぶに、人、かにを捕りて殺さんとしけるを見て、あはれみて、買ひ取りて放ちてけり。

その父、田をすかすとして、田づらに出でたりける時、くちなは蛙を飲みてありけるを、打ち放たんとすれども、放たざりければ、こころみに、なほざりがてら、「その蛙放て。さらばわが婿に取らん」といひかけたりける時、くちなは、このぬしが顔を打ち見て、飲みかけたる蛙を吐き出だして、藪の中へ這ひ入りぬ。「げにはよしなきことをも言ひつるものかな。くちなははさるものにてあるに」と悔しく思へどかひなし。さて家に帰りぬ。

夜にも入りぬれば、「いかが」と案じゐたるに、五位の姿したる男子入り来たり。今朝の御約束によりて参りたるよしをいふさればこそ、いよいよあさましく悔しき事限りなし。何と言ふべきかたなくて、今兩三日を経て来たるべきよしをいひければ、すなはち帰りぬ。娘、このことを聞きて、おぢわななきて、寝所など深くかためて隠れるたり。

兩三日をへて来たり。このたびは、もとのくちなはの形なり。娘の隠れるたる所を知りて、そのあたりを這ひめぐりて、尾をもちてその戸を叩きけり。これを聞くに、いよいよ恐しきことせんかたなし。心をいたして観音經を読み奉りてゐたり。

かかるほどに、夜半ばかりに至りて、百千のかに集まり来て、このくちなはをさんざんにはさみ切りて、かには見えず。このこと、信力にこたへて観音加護し給ふゆゑに、かに、また恩を報じけるなり。

その夜、観音經を読み奉りて、他念なく念じ入りたりけるに、御たけ一尺ばかりなる観音現ぜさせ給ひて、「なんぢ、恐るることなかれ」と仰せられけるとぞ。この娘、七歳より観音經を読み奉りて、十八日ごとに持齋をなんしける。十二歳よりは、さらに法華經一部を読み奉りてけり。

法力、まことにむなしからず。現当の望み、誰か疑ひをなさんや。

注1 山城国久世郡 ……今の京都府久世郡。

注2 すかす ……耕す。

注3 田づら ……田のあたり。

注4 くちなは ……へび。

注5 さるもの ……相当なもの。ここではしたたかものという意味。

注6 五位の姿 ……五位の貴族の正装。当時は、位階によってその服装が違っていた。

注7 両三日 ……二、三日。

注8 観音経 ……法華経の一部。この経文をとなえていると、病氣や災いをのがれることができる、と教えている。

注9 御たけ一尺 ……身長約三十三センチメートル。

注10 持斎 ……心身を清め、つつしむこと。

注11 法力 ……仏法の力。

注12 現当 ……現在と未来。現世と来世。

問一 傍線部A「幼くより観音に仕へけり」とありますが、どのようなことですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

1 幼少のころから観音経を信仰していたということ。

2 幼少のころから観音経を読むことを仕事にしていたということ。

3 幼いころは観音様として人々に慈悲を与えていたということ。

4 幼いころは観音様にそむくことが多かったということ。

問二 波線部 a 「放ちてけり」、b 「いひけれ」、c 「叩きけり」、d 「読み奉り」の主語として最も適するものをそれぞれ次の中から選び、マークしなさい。(同じ選択肢を重複して選択することもあります。)

- 1 娘 2 観音 3 かに 4 娘の父 5 くちなは

問三 二重傍線部 X 「なほざりがてら」、Y 「かひなし」、Z 「おぢわななきて」の意味として最も適するものをそれぞれ次の中から選び、マークしなさい。

- | | | | | |
|-------------|-----------|------------|-----------|----------|
| X 「なほざりがてら」 | 1 丁寧に | 2 大切に | 3 いいかげんに | 4 ひそかに |
| Y 「かひなし」 | 1 間違いではない | 2 うまくいかない | 3 安心できない | 4 しかたがない |
| Z 「おぢわななきて」 | 1 恐怖でふるえて | 2 さめざめと泣いて | 3 静かに決意して | 4 激しく叫んで |

問四 傍線部 B 「げにはよしなきことをも言ひつるものかな」の解釈として最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 本当に、つまらないことを言ってしまったものだな。
2 そうか、不思議なことを言ってしまったのだな。
3 実際にはよくないことでも、言ってみるものだな。
4 多分、仕方がないことを口に出してはいけないのだな。

問五 傍線部C「いよいよあさましく悔しき事限りなし」とありますが、どのようなことですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 家に入ってきた男が貴族の正装をしていたので、娘にも正式な衣服を用意すべきだったと悔やんでいる、ということ。
- 2 くちなはがやって来るのではなく、立派な装束を着た男性がやって来たので、準備を怠ったことを後悔している、ということ。

- 3 くちなはが約束通りに訪ねて来たことに驚きあきれ、蛙を逃がせば婿にすると言ったことを後悔している、ということ。
- 4 いい加減に田を耕していたので、観音様を怒らせてしまい、何事も熱心にしなければいけないと反省している、ということ。

問六 傍線部D「両三日をへて来たり」とありますが、なぜですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 くちなはが娘の父に、二、三日したらまた来ると約束をしたから。
- 2 くちなはが娘の父に、二、三日したらまた来なさいと言われたから。
- 3 娘の父がくちなはに、二、三日したらまた来ると言ったから。

- 4 娘の父がくちなはに、二、三日して元の姿になってから来なさいと言ったから。

問七 傍線部E「かに、また恩を報じけるなり」とありますが、どのようなことですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 かにには、娘が観音経を唱え続ける姿に感動して、くちなはを退治したということ。
- 2 かにには、人間に襲われていた所を助けてくれたことに感謝して、娘を助けたということ。
- 3 かにには、娘の父がくちなはと交わした約束に反対するため、娘の元へ帰ってきたということ。
- 4 かにには、くちなはが人間の姿に変身したことが許せず、くちなはに立ち向かったということ。

問八 傍線部F「なんぢ、恐るることなかれ」とありますが、どのようなことですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

1 経を読むことで、つらい気持ちを我慢している娘に対して、娘の父が来世の幸福を願えば心配ないと励ました、ということ。
2 早熟な娘を心配する娘の父に対して、観音様は、心配しなくても仏法の力で良き夫が現れるだろうと安心させた、ということ。

3 娘は三十メートルほどの巨大な観音様と対面し、仏法の力が自分を守ってくれると自分自身に言い聞かせた、ということ。
4 集中して経を読む娘に対して、観音様がそのまま続けていれば、心配はいらないと伝えに来た、ということ。

問九 傍線部G「十八日ごとに持斎をなんしける」の「ける」は文末ですが、「なん」という助詞によって連体形になっています。このような文法的なきまりとして最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

1 係り結びの法則 2 体言止め 3 対句法 4 倒置法

問十 次の各文のうち、本文の内容に合うものには1を、合わないものには2をそれぞれマークしなさい。

A 娘の父は、くちなはがかにを襲っている姿を見て、かわいそうだと思った。

B 娘の父は、娘が観音経にのめり込んでいることを不安に思っていた。

C 二度目に娘の家に来た際に、くちなはは本来の姿であった。

D 娘が観音経を唱え続けた結果、観音様が娘の前に姿を現した。

E 仏法の力は移り変わりやすいため、願いが叶うかどうかはその信仰の深さによる。

三 次の各問に答えなさい。

問一 次の a ～ e の傍線部の敬語の種類として最も適するものをそれぞれ 1 ～ 3の中から選び、マークしなさい。

- a 冷めないうちに召し上がれ。
- b 明日、大臣にお目にかかる予定です。
- c その要望は生徒会長である私が承ることだ。
- d 兄は医者でございます。
- e 校長先生が話していらつしやる。

- 1 尊敬語
- 2 謙讓語
- 3 丁寧語

問二 次の a ～ e の傍線部のことわざ・慣用句の使い方として正しいものには1を、正しくないものには2をそれぞれマークしなさい。

- a 蛇ににらまれた蛙かえるのように勇敢に立ち向かった。
- b 祖母が爪に火をともして貯めたお金で進学した。
- c 私は虫の居所が悪いので、友人のあやまちを許した。
- d 後ろ髪を引かれる思いで、故郷を後にする。

e 予想通りの展開に狐きつねにつままれたようだ。

問三 次の傍線部 a ～ e の品詞名として最も適するものをそれぞれ 1 ～ 10の中から選び、マークしなさい。

それらの夏の日々、一面に薄すすきの生い茂った草原の中で、お前が立ったまま熱心aに絵を描いていると、私はいつもその傍らの一本の白樺しろかばの木蔭に身を横たえていたものだった。そうして夕方bになって、お前が仕事をすませて私のそばに來ると、それからしばらく私達は肩に手をかけ合ったまま、遥はるか彼方かなたの、縁あかねいろだけ茜色を帯びた入道雲のむくむくした塊りに覆われている地平線の方を眺めやっていたものだった。ようやく暮れようとしかけているその地平線から、反対に何物かが生れて來eつつあるかのように……

(堀辰雄『風立ちぬ』)

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|-----|---|------|---|----|----|-----|
| 1 | 動詞 | 2 | 形容詞 | 3 | 形容動詞 | 4 | 名詞 | 5 | 連体詞 |
| 6 | 副詞 | 7 | 接続詞 | 8 | 感動詞 | 9 | 助詞 | 10 | 助動詞 |

問四 次の a ～ e の空欄にあてはまる最も適する漢字一字をそれぞれ 1 ～ 4の中から選び、マークしなさい。

- a ☐ 条理 b ☐ 完成 c ☐ 条件 d ☐ 合法 e ☐ 解決

- 1 不 2 無 3 未 4 非

問五 次の a ～ h の傍線部に相当する漢字を含むものとして最も適するものをそれぞれ 1 ～ 3 の中から選び、マークしなさい。

a 従業員をヤトう。

1 コヨウ保険に加入する。

2 コキヤク名簿を管理する。

3 コチヨウとして表現する。

b 志望校の決定にナヤむ。

1 シュノウ会谈が行われる。

2 ノウシュク還元のジュース。

3 問題解決にクノウする。

c テントをハる。

1 会計チヨウボを保存する。

2 道路をカクチヨウする。

3 意味シンチヨウな微笑み。

d 会社のイアン旅行に参加する。

1 恩師をカコむ。

2 視線をウツす。

3 友人をナグサめる。

e 道路交通がホウワ状態になる。

1 春がオトズれる。

2 勉強にアきる。

3 傷をヌいあわせる。

f 彼に協力をヨウセイする。

1 下ウけ業者にお願いする。

2 おかずをお皿にモる。

3 服装をトトノえる。

g ナメラかな坂道をのぼっていく。

1 祖母は非常にカツゼツが良い。

2 戦争でブンカツされた土地。

3 富士山はカツカザンである。

h 前例をフ|まえて考察する必要がある。

1 トウケイ|的には成功する可能性が高い。

2 トウロン|を重ねて意見が整理される。

3 デパートのザットウ|の中で迷子になる。

